議会だより

さまに

No. 21

様似町議会

2024.8.23



～　主　な　内　容　～

◆令和６年６月定例会

　補正予算・議会活動　　Ｐ２　～３

◆一般質問（４名９件）　　Ｐ４　～７

◆常任委員会報告　　Ｐ８　～９

◆議員研修会　　P10

No. 21　表紙写真

「空高く、高らかに」

第５２回アポイの火まつりで演奏した様似中学校吹奏楽部。少数精鋭のメンバーで会場の観客を巻き込み、練習の成果を十分に発揮して見事な演奏を披露してくれました。

6月定例会

19 日・20 日の 2 日間の
会期で行い審議しました。
一般質問は 4 人　9 件です。



☆議　　件☆

・様似町過疎地域の持続的発展の支援のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る先決処分の承認について
・様似町税条例の一部を改正する条例の制定に係る先決処分の承認について
・様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る先決処分の承認について
・乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・様似町重度心身障碍者及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・様似町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
・様似町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに地域密着型介護予防サービスに係る介護予防の為の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
・栄町団地建替（Ⅰ期）請負契約の締結について

▷一般会計補正予算（第 2 号）◁

補正予算 1 億 2,535 万 9 千円を追加し
総額 53 億 1,920 万 6 千円となりました。

☆補正の主なもの☆

新型コロナワクチン助成に 489 万 7 千円
定額減税調整給付金に 3,000 万円
鵡苫地区排水溝改修工事に 1,157 万 2 千円
西様似地区災害復旧費に 681 万円等です。

▷歳入の主なもの◁

歳入の主なものは、
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として
4,793 万 5 千円
デジタル基盤改革支援補助金として 2,203 万 3 千円
寄付金 215 万 8 千円等です。

☆　意見書 2 件

① ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書～可決
② 訪問介護サービス報酬減額に関する意見書～社会文教常任委員会付託

☆　発議案 2 件
☆　議案審議 10 件
☆　消防議員の選任
　砂子澤　富美子　　議員を選任

▷介護保険特別会計補正予算◁

1,417 万 5 千円を追加し、総額 4 億 8,790 万 3 千円となりました。

▷国民健康保険事業特別会計補正予算◁

494 万 2 千円を追加し、総額 5 億 7,892 万 9 千円となりました。

様似町議会活動報告

３月　７日　町議会定例会（至 21 日）
　　総務産業常任委員会
　12 日　社会文教常任委員会
　21 日　議会広報常任委員会
　25 日　幼児センター卒園式
　　日高東部消防組合議会定例会
　　日高東部衛生組合議会定例会
　27 日　議会広報常任委員会

４月　３日　幼児センター入園式
　４日　令和６年度教職員辞令交付式
　８日　令和６年度様似小学校・様似中学校入式
　13 日　アポイ山麓山開き安全祈願祭
　16 日　読売新聞記者取材
　17 日　日高町村議会議長会定期総会
　20 日　長谷川岳参議院議員政経セミナー







議員控室

５月　２日　議会広報常任委員会
　21 日　全国町村議会議長会・副議長研修会
　25 日　様似中学校体育大会
　26 日　消防訓練大会
　30 日　日高軽種馬振興対策推進協議会総会
　　日高総合開発期成会理事会、総会
　　様似アイヌ協会イチャルパ（先祖供養祭）
　31 日　北海道町村議会議長会職員研修会事務担当者会議
　　日高東部衛生組合臨時会
６月　３日　社会文教常任委員会・行政視察（様似町社会福祉協議会、様似福祉会）
　4,5 日　総務産業常任委員会
　　日高山脈襟裳国定公園の国立化に関する調査特別委員会
　５日　全員協議会、議会運営委員会
　８日　様似小学校運動会
　10,11 日　議会広報編集
　11 日　北海道町村議会議長会定期総会



砂子澤富美子議員

質問①

朝日丘の住宅地につながる道路整備について

問 現在朝日丘住宅地への道路は1本しかなく、自治体からも継続して要望が出されています。災害時の緊急避難等からも道路整備が必要と考えますがいかがですか。

答 災害時の避難等の観点から朝日丘線南側を生かした道路整備を考えています。以前は旧様似中学校の授業や馬の放牧等に支障がありましたが、現在は行われていない事から、緑町地区町有地の朝日丘1線から様中線へ接続する道路や朝日丘線から緑町教住線へ接続する道路、朝日丘4線からソビラ荘へつながる道路等、朝日丘地区全体の道路整備方法を定め、生活道路の利便性の向上を図りたいと思います。

問 具体的にいつ頃ですか。

答 7月中には整備したいと考えています。

質問②

町政への子供の参画について

問 子供の意見を町政に生かそうとする様々な取り組みが行われていますが、様似町として取り入れていく考えはありますか。

答 子供の町政への参加は双方にメリットがあると認識。本町では子供の意見反映に特化した定期的・定型的事業はないが、色々と手法があると思います。まずは既存の事業や取組の中で子供の負担やストレスを考慮しながら適切なバランスで子供若者の意見を聞く機会を増やしていく事を検討したいと思っています。

質問③

昨年上半期の一般質問答弁について今後の検討事項となっていた事柄の進行状況についてお伺いします。

問 学校トイレの生理用品設置について

答 学校と予算含め調整を行い今年度より設置する方針。中学校は全ての生徒用トイレに既に設置済み、小学校も物品管理・児童への指導内容含めて近く実施予定です。

問 避難経路整備について

答 昨年の一般質問では自動車での避難ルール及び要支援者等の把握について回答、車輌避難については歩いて逃げるのが難しい方等に限定するルール作りが必要です。要支援者の自治会への情報周知等、不十分な点は出来るだけ早く対応したい。防災訓練等も多くの町民の皆様に実感を持ってお考え頂ける様な方策を真剣に考えさせて頂き、いざという時にこういう風に行動しようと思ってもらえるように努めていきたいと思います。

問 幼児センターに避難カプセルの導入はどうでしょうか。

答 幼児センターの場所が非常に問題ありと認識しています。避難カプセルについては検討中ですが様々な課題があり、やりますとは言えないが可能性として感じています。

問 補聴器の助成について

答 軽度中等度難聴児補聴器購入費等助成事業については令和5年9月29日に制定。高齢者の補聴器助成については国や道の補助メニューになく、国や道で動きがあれば早めに対応します。

問 国や道の政策も必要ではあるが、様似町独自の取組で出来る事から始めてみてはどうでしょうか。自治体によっては少額から行っている所もあり、助成があれば補聴器の購入を検討出来る場合もあるのでは。聞こえなくても我慢されている方も多く、コミュニケーションがとりづらいと外へ出る機会も減り機能低下にもつながっていきますので、是非とも本気で検討して頂きたいです。

答 高齢者の難聴については判断に難しい事もありますが、高齢化社会の中ですごく多くなってきていますので、もう少し検討させて頂きたいと思います。

問 乳幼児等の遊び場について

答 雨天時や冬期間の遊び場について、幼児センターで行っている子育てサロン開設時間は町内外の方が利用可能です。また町内の民間団体の協力を得て中央公民館1階ロビーにてキッズスペースを設け、小学校低学年くらいまでの児童を対象とした室内遊具を設置予定です。

問 外の遊び場についてはいかがですか。

答 アポイ遊具の更新を検討中。小さな子供と保護者が遊べる整備を検討したいと思います。

問 小学校のプール開放について

答 現状の監視利用体制を継続しますが、危険行為については管理人はもちろん、体育係の職員も立ち会い、利用状況を確認した上で今後の検討を行います。
救命講習は全員が受けています。監視は必ず大人がいますので、複数体制で行っていきます。



橋爪伸恵議員

質問①

移住体験住宅利用者からの移住を増やすための施策について

問 移住体験住宅の利用状況について。

答 平成28年より、人口減少対策の一環として、移住定住、交流人口の増加による地域活性化を目的として、移住体験事業を実施している。毎年12月から1月頃にかけて、次年度利用者の募集を行い、日程が重複した場合は抽選だが、移住希望の強い方に利用してもらえるよう心掛けている。夏季（6月から9月頃）に集中しており、首都圏や関西を中心に本州からリタイア後の60～70代の利用者が多い。令和2、3年度はコロナ禍により受け入れは中止、その後令和4、5年度の平均は、10組14名、滞在日数は年間380日程度となっており、今年度も同程度の利用を見込んでいる。

問 利用者の募集に関して町のホームページ以外で行っていることは。

答 移住フェアに行った際、またチラシも出したりするが、それ以外の働きかけは出来ていない。

問 利用者の移住状況について。

答 制度導入以降、延べ75組110名に利用されているが、残念ながら、実際移住につながったケースはまだない。完全移住というよりも、主な生活拠点とは別の生活拠点を設ける、二地域居住の希望が多いが、冬季間の物件管理の不安、また、地域は気に入ったが条件に合う物件がみつからない等、住宅確保の難しさがネックとなっている。避暑として利用されているという懸念は否めなく、移住促進の成果は出ていない。ただ、リピーターも多く、関係人口の創出という面では成果が出ていると認識している。

問 体験住宅の提供以外で利用者に対して行っているサービスについて。

答 滞在期間中の行動に関与することは基本的にない。希望に応じて困りごと相談、イチゴ収穫体験などの体験メニューの案内などをしている。職員及び地域おこし協力隊員が加わり、移住体験利用者交流会を実施している。

問 年間の利用料で移住体験住宅の維持管理費等の経費は賄われているか。

答 令和5年度の年間利用料は58万円ほど。水道光熱費、ネット環境の整備もあったので、経費は賄われていない。利用料が安いということで、日額1，800円に値上げをしている。

問 移住者がゼロであれば、人口減少対策の一環としてのこの事業は失敗ということになる。むしろ、二地域居住を推進してはどうか。

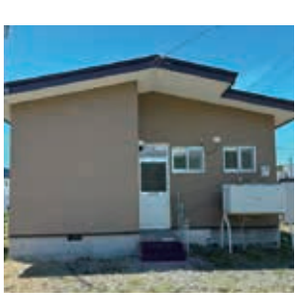
答 確かに、夏場だけ北海道で過ごしたいという利用者の本音もあり、また移住者の取り合いになっているという状況で、移住推進はなかなか難しい。視点を変えて、有効な使い方を考えていく必要があると思うので、いろいろ検討していきたい。

問 移住希望者はいるので、本来この事業を成功させることは可能と思われる。但し、問題解決には、土地建物情報の提供や物件管理等、不動産管理力が必要であり、町がどこまで出来るのか、人員も乏しく、現状では難しいということかと思う。第9次総合計画終了までの目標として、「移住希望者に対し住宅・求人情報等移住に関する情報の一元化、迅速かつ効果的な相談体制の推進」とあるが、計画終了前に、内容を考察すべきと思う。

答 担当職員も兼務でやっており、力の入れ方が足りなかったということはあるが、交流人口を増やすための施設利用という考えでいいのでは、という思いでいる。移住者向けの物件として、町の持っているものを利用するということで、公売にかけてもなかなか売れない土地などを活用する方法を庁舎内で話し合っている。町有地を買って住宅を建ててくれた方もいるので、この辺もふまえ、方向を見定めながら、取り組んでいきたい。片手間でやっているわけではないが、今は精一杯である。いずれにしろ、指摘された点は、しっかり考えさせて頂きたいと思っている。



移住体験住宅A





鈴木隆議員

質問①
スポーツ公園の利用促進について

問 管理棟の避難所としての活用は検討されたことがありますか。

答 建物が築約40年で老朽化が進んでいることから、長寿命化改修をしたうえで、その2階を避難スペースとして利活用することは検討しておりました。

問 スポーツ公園内施設のトイレの温水洗浄便座化を検討すべきと考えますが、その考えはありますか。

答 トイレの洋式化・温水洗浄便座は、スポーツ公園整備全体の在り方を考える中で、併せて検討したいと考えている。ソフトボール場のトイレと同じように洋式便座カバーをかけることも考えたいと思います。

問 野球場の地盤沈下対策等が必要と考えるが、検討する考えはありますか。

答 現状として外野付近が約60センチ沈下している。ほかの場所も部分的に沈下している状態です。芝生をはぎ取り、簡易的な補修をしても、2千万円程度の費用が見込まれる。そのため地盤対策はスポーツ公園施設整備全体の在り方を考える中で検討したいと考えております。

問 今後、一層の利活用促進のための整備計画が必要であるが、検討される予定がありますか。

答 1984年に「山村広場」として整備され、野球・ソフトボール・サッカーを始め、日常の練習や各種大会の開催など野外スポーツの拠点として利用されてきています。令和5年度の利用実績は野球場が延べ1，560人、ソフトボール場が888人となっています。しかし近年の利用者数の減少もあり、特に公園全体の整備計画はありません。



質問②
旧様似駅を含む施設改修および周辺の利用促進について

問 駅前トイレの改修は早急にすべきと考えるが検討されていますか。

答 町内の公共トイレについては各施設のタイミングを見ながら、順次、温水洗浄便座化や洋式化等の改修を行っていきたい旨お話させていただいており、利用頻度を考え、駅前のさわやかトイレと親子岩東側トイレを先に改修していきたい。駅前トイレについても本年度、1基ずつではあるが洋式トイレの温水洗浄便座化への変更と手すりの設置を予定しております。

問 旧様似駅・バス待合室は大規模改修工事が必要と考えるが検討されていますか。

答 旧様似駅舎を含む土地・建物についてJR北海道に譲渡申請していたところですが、本年7月に引き渡しを受ける予定で進んでいますので、本年度「旧様似駅周辺整備検討委員会」を設置し、具体的な整備内容について検討していきたいと考えております。なおバスターミナルを整備する際には5，000万円を上限にJR北海道からからの拠出金が交付されます。そういったことも踏まえて整備を進めていきたいと考えています。

問 駅の中に飲食店を誘致する考えはありますか。

答 多くの方に来てもらうためにサービスや機能の工夫は必要ですし、飲食できるスペースも必要であると認識しています。

質問③
介護施設にエアコンの導入について



問 もう、すでに気温は高くなっています。町内の介護施設にエアコンの設置が必要と考えるが、設置の予定はありますか。

答 様似ソビラ荘は個室ユニット型の部屋構造になっており、共用スペースにエアコンがついており冷気が個室にも届く構造になっています。併設するエンルム荘も同じ構造です。デーサービス「喜楽」については令和7年度に設置される予定でおります。



明賀孝子議員

質問①

町道栄町岡田線落石について

問 令和6年4月21日～25日頃、栄町～岡田線での落石の件について詳しい経過を教えてください。

答 様似町は4月24日未明から25日にかけて大雨が降り25日の24時間降水量は104．5ミリと4月の観測史上最多の降水量でした。この大雨が誘因となり高さ50メートル地点の民有地から複数の落石が発生し、その一つの50センチ四方の石が道路上に落下したものと思われます。

問 この件について役場は把握されていましたか。

答 はい。雨が降っていたので、午前7時半から道路管理委託業者が町道パトロールを行ったところ、落石を発見し、午前8時頃走行中の路上に石を発見し落石を除去した事の報告を受けております。

26日には、土地所有者に路上落石が発生した件を伝え、対応について話をしています。

問 ここ数年の大雨等で崖が崩れ落ち、山側に大きな岩が落ちています。岡田から栄町に向かう際には危険を感じます。ここは町道でもあり、通学や通勤で頻繁に使われる道です。万が一事故が起こった場合、責任の所在はどこにあるのでしょうか。

早急に対応策をとる必要があるのではないですか。

答 責任の所在については町にあります。早急にできる対応策として3点あります。

① 落石注意標識の増設

② 降雨時の道路パトロールによる落石、法面形態観察を実施し災害防止に努めます。

③ 早急な現地調査の上、落石防止の大型土のうやブロックなど落石防護工の設置を考えています。現場上空のドローン調査も実施し、法面上部の落石、倒木、浮石も確認済ですので、早急な対策を実施したい。



（※落石注意の看板設置済み）

質問②

せせらぎ橋の現状について

問 せせらぎ橋は町民、園児の散歩コースであり、川の中央からアポイ岳に連なる山々を望め、鮭の遡上、白鳥等も見られ景観の良い町内屈指の観光スポットであると思われます。

しかし、現状は塗装が剥がれ、夜間、欄干にある38個の電球は灯っておらず、唯一中央の4つの大きな電灯の内2つが灯っているのみです。今後の町としての取り組みをお聞かせください。

答 せせらぎ橋については設置から27年経過しており、老朽化も進行しています。節電の為、外していた水銀灯も15基設置しました。

橋梁法点検は5年ごとに実施し、現在、予防保全段階2であり、橋の機能には支障がない状態です。

現段階での塗装補修については、交付金事業での補修が困難である為、経過観察を継続するものであります。

今後、電灯のＬＥＤ化を検討していきたい。

問 橋の路面もタイル張りで雨水が溜まれば、タイルが浮いて不安定になっている箇所があります。冬場や夜間の散歩には暗すぎます。早急な対応をすべきでは。

答 橋梁路面ゴム舗装に不安定箇所がある点につきましては、降雨後に再度現地調査を行い、補修致します。冬場や夜間の散歩には、外していた電灯も取り付けましたので、橋梁の暗さは解消されています。

せせらぎ橋は、町民の方が草刈りや除雪をしてくださり大変有難く思っております。

一時期町内全体にわたって節電消灯を実施した地域がありましたが、町全体の安全確保のため街灯等も点灯するところを検討していきたい。



各常任委員会は、下記の分野の問題・課題について議論しています。
◎総務・産業常任委員会…総務、税務、産業、商工観光、建設、上下水道
◎社会・文教常任委員会…町民、保健福祉、教育、消防

総務・産業常任委員会

6/4
6/5

所管事務調査は総務課2件、企画調整課2件、産業課1件、商工観光課4件建設水道課2件の11件で、6月4日、6月5日開催されました。

・総務課

総務課の1件目は、総務課補正予算について。自治体情報システムの標準化共通化で、自治体ごとに異なっていたシステムから、国の示す標準仕様に準拠したシステムを義務付けについて説明がありました。

委員からは、具体的な効果、様似町規模ではどうなのか、職員の負担について意見・質問がありました。

2件目は財務規則に基づく事務処理（委員会案件）について。監査結果報告の概要の説明がありました。

委員からは、監査指摘の対応について、特命発注、随意契約の執行、担当職員の共通理解の必要性について意見・質問がありました。

・企画調整課

企画調整課1件目は、ふるさと納税の現況について。参加業者、返礼品数、実績等説明がありました。

委員からは、リピーターへの工夫、手紙とお供に写真を入れては、大きな伸び率の原因、さらに伸ばすための方策、日高産エゾヤマザクラのボールペン制作、体験的アクテビティの有無、更なる高い目標持つべき等意見・質問がありました。

2件目は、ＪＲ日高線バス転換後の運営状況（委員会案件）ついて。拠出金の使途、試算、これまでの実績、今後の展望等について説明がありました。

委員からは、バス関係の支援金、ターミナル整備、踏切の整備、日高総合開発期成会について意見、質問がありました。

・産業課

産業課は1件、産業課所管の補正予算について。令和5年10月5日の大雨の係る追加応急復旧について説明がありました。

委員からは、残りの工事について質問がありました



・商工観光課

商工観光課1件目は、商工観光課所管の補正予算について。アポイ山荘Ｗｉ－Ｆｉ設備機器購入に係る補正について。概要の説明があり、意見・質問はありませんでした。

2件目は、交流促進施設アポイ山荘指定管理者の募集について。

交流促進施設アポイ山荘指定管理業務仕様書等で説明がありました。

委員からは、老人福祉センターの取り扱い、令和4年度、5年度の売上、老人福祉センターの使用実績、決算書の確認の可否、指定管理料の明示等意見・質問がありました。

3件目は、様似町観光協会体制強化後の状況（委員会案件）について。口頭で説明がありました。

委員からは、体制強化の目的と結果、観光協会は法人格なのか、委託業務内容、地域おこし協力隊、ＬＩＮＥスタンプの販売、体制強化後の評価、民間観光業者の戦略について意見、質問がありました。

4件目は、アポイ岳調査研究支援センター解体工事凍結（委員会案件）について。資料に基づき実績等について説明がありました。

委員からは、凍結の意味、インバウンド客の有効利用、ふるさと創生資金利用について意見・質問がありました。

・建設水道課

建設水道課1件目は、栄町団地建替工事（1期）請負契約の締結について。資料の図面で説明があり、質問・意見はありませんでした。

2件目は、鵜苫地区（石橋の沢付近）排水溝改修工事の補正予算について。資料の図面で説明があり、意見・質問はありませんでした。



最後に、町から鵜苫神社の地滑りについて現況報告がありました。



社会・文教常任委員会 6/3

◆新型コロナウイルスワクチン接種について

ワクチン価格の変更により、助成額が変わりました。接種費用は一回15，300円、増額分を国が助成、町の助成額は、4，000円と変わらず、助成対象者である65歳以上、または60～64歳で心臓等に基礎疾患のある者の負担額も、3，000円と変わりません。生活保護世帯、町民税非課税世帯は引き続き全額助成、18歳以下の者については、国からの助成の対象ではありませんが、様似町は18歳以下の者の医療費を無償としていることから、全額を町が負担します。

委員より、ワクチンの健康被害に関する質問が出ましたが、現在国に、健康被害に関する審査請求中または審査請求考慮中のケースが2件あるとのことでした。

◇介護保険事業所等の状況について

以下の、町管轄の介護保険事業について聞きました。

「様似町の介護認定状況について」

「様似町地域包括支援センターの運営状況について」

「様似町居宅介護支援事業所の運営について」

「様似町老人福祉寮エンルム荘の運営状況について」

エンルム荘の入所条件が、所得によらないことが果たして適当なのか検討してほしい、また、認知症対応に関する人手不足を補う策として、自治会に協力を要請してはどうか等提案がありました。

最後に、様似福祉会より出された「様似ソビラ荘ショートステイ受け入れ体制変更のお知らせ」が回覧でまわっていたことについて説明を求めました。状況を危惧しており、福祉会と早急に協議し、早めに答えて下さるとのことでした。

その他審議した案件

◆様似町過疎地域の持続的発展の支援のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について

◆様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について

◆様似町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆低所得者支援及び定額減税補足給付金について

※注
◆↓ 町側からの案件
◇↓ 委員会側からの案件

△行政視察▽

6月3日、町内2事業者が行っている介護サービスの概要・現状について説明や意見交換を行いたく、様似町保健福祉センターにて、行政視察を実施しました。

●社会福祉法人
様似町社会福祉協議会

「社会福祉協議会の介護サービスについて」として、木下常務及び各担当責任者に以下の事業についてご説明頂きました。

1．介護保険サービス事業
・さまに居宅介護支援事業
・さまにホームヘルプサービス事業
2．在宅福祉サービス事業
（町受託事業）
・移送サービス事業
・給食サービス事業
・障害者居宅介護事業
3．地域福祉活動事業
4．様似町共同募金委員会との連携
5．ボランティア活動の推進
6．災害ボランティアセンターの体制整備
7．福祉関係団体等への参画及び協力

●社会福祉法人
様似福祉会

「特別養護老人ホーム様似ソビラ荘の現況について」として、山中理事長及び施設長にご説明頂きました。

定員は、特養60名、ショートステイ16名ですが、合わせて60名に満たない状況が続いているため、経費削減を徹底すべく、4ブロックから3ブロックへ受け入れ体制を縮小している状況ということでした。

なお、このことにつきましては、5月下旬、自治会に回覧されています。

議会だより さまに
No. 21
2024年（令和6年）8月23日発行

北海道町村議会議員研修会

7月2日、北海道町村議会議員研修会が、札幌コンベンションセンターにて開催されました。議員研修会は北海道町村議会議長会主催で、全道の町村議員が一堂に会する中、様似町からは八木田議長、小野副議長をはじめ、8名の議員が参加しました。

2名の講師による講演は、気象予報士、森朗氏による「札幌が東京より暑くなる!?～加速する気候変動～」及び元衆議院議長、大島理森氏による「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」でした。

翌7月3日は、道の駅への行政視察を行い、長沼町「マオイの丘公園」及び安平町「あびらD51ステーション」の2か所を訪れ、帰路につきました。





議会を傍聴しませんか？

議会は、どなたでも傍聴できます。

今後の町の方向性を聞くことができる良い機会です。

定例会や臨時会の傍聴は、事前の連絡は必要ありません。

町民の皆さん、ぜひ、お越しください。

次回定例会の予定は。。。

9月17日（火）～20日（金）

時間：午前　9時　30分から
場所：役　場　3　階　議　場
☆お問い合わせ先☆
TEL 0146-36-2141（議会事務局）

編集後記

二刀流・大谷選手の活躍は毎日が楽しみですが、今から約百十年前、様似で「二刀流」の大活躍した人がいました。アポイ岳の象徴・ヒダカソウの発見者・対馬政雄さんです。1912（明治45年）年に様似小に教師として赴任。1915（大正4年）年冬島小校長になりました。彼はスポーツ万能で、生徒に当時珍しかった野球を熱心に教えています。

一方、師範学校時代から植物に強い興味を持ち、アポイ岳の多くの高山植物標本を、北大や東大に送ったことが、アポイ岳高山植物の研究と保護につながっています。それから約30年後の1952（昭和27年）年、アポイ岳の高山植物群落は、国の特別天然記念物に指定され、さらに約70年後の2024（令和6年）年、アポイ岳を含めた日高山脈は国立公園になりました。

（改訂　様似町史より）（水野）

議会広報常任委員会
委員長　水野洋一
副委員長　佐々木敏
委員　橋爪伸恵
委員　明賀孝子
委員　砂子澤富美子

編集　様似町議会議会広報常任委員会／発行責任者　議長　八木田和浩
〒058-8501　北海道様似郡様似町大通1丁目21番地
TEL 0146（36）2141　FAX 0146（36）2662